

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 音楽科

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	<p><現状> 意欲的に取り組む生徒が多いが、個別指導が必要な生徒も多い。また、苦手意識が強く、最初からできないとあきらめてしまう生徒もいる。</p> <p><課題> 全体への指導とともに要支援生徒へ個別指導の工夫と改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとのワークシートを活用し、その授業での目標を明確にすることで、目的意識をもたせる。 グループワークを多く取り入れ、要支援生徒も友達と一緒に活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 第2回アンケート 定期考査 ワークシート 	<p>導入部分での目標提示を継続していく。合唱パート練習も自分達でできるようになってきたので、今後はパートリーダーを中心に活動できるように声掛けをするとともに、ICTを活用した教材の工夫をしていく。</p>	<p>合唱の授業を通し、音楽の授業が楽しいと感じている生徒が増えてきた。多くの経験を積む中で、音楽の楽しさより味わえるようにしていきたい。来年度は声の成長とともに、表現力の育成に力を入れていきたい。</p>
2年	<p><現状> 1年の時よりも意欲的に取り組む生徒が増えたが、支援を要する生徒も多いため、一斉指導では難しい場面もある。</p> <p><課題> 基礎的な内容がまだ身につけていない生徒もいるため、用語などを反復学習する必要がある。曲を聴いた感想や自分が学んだことなど、自分の思いを言葉で表現できない生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音楽用語や音符などは繰り返し学習し、苦手意識をもたせない工夫をする。 ワークシートにキーワードをあらかじめ記入しておき、自分の思いや意図をキーワードを頼りにして表現できる力を身につけていく。 個別指導を要する生徒には場面ごとに声掛けをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 第2回アンケート 定期考査 ワークシート 	<p>声の成長とともに混声合唱の良さを少しずつ味わえるようになった。音楽祭にむけ主体的に活動し、表現を工夫していく力を身につけさせたい。そのためにも、生徒主体の授業づくりをめざす。</p>	<p>意欲的に取り組む生徒が多いが、集中力が継続しない生徒も見られるので、その授業での達成目標を明確にし、歌唱・創作・鑑賞ともに、達成感を味わえる授業づくりと教材の工夫をめざしていきたい。</p>
3年	<p><現状> 学年が上がるにつれて意欲的に授業に取り組むことができるようになった。鑑賞の授業を苦手と感じている生徒が多い。</p> <p><課題> 合唱の授業は意欲的に取り組むが、鑑賞の授業は自分の考えをうまくまとめることが苦手な生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を味わい、それに伴った音楽表現の工夫を生徒自身に考えさせ、表現に生かしていく。 鑑賞の授業では、音楽の要素との関連を考えながら自分の思いを表現できるようなワークシートの活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 第2回アンケート 定期考査 ワークシート 	<p>音楽祭に向けてさらに意欲的に取り組んでいた。和太鼓による創作授業もグループで協力し、楽しみながら意欲的に取り組んでいた。最後の音楽祭に向けて、生徒の自主的な活動を増やし、思考・判断する中で表現力を高めていきたい。</p>	<p>最後の音楽祭に向けて、限られた時間の中でも、生徒の意欲を高めながら中学校生活最後の合唱を楽しめるように指導をしていく。また、教材の工夫をはかり、よりわかりやすい授業づくりを目指す。</p>

